



# 平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月7日

上場会社名 TOWA株式会社

上場取引所 東

コード番号 6315 URL <http://www.towajapan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡田 博和

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長 (氏名) 柴原 信隆

TEL 075 - 692 - 0251

四半期報告書提出予定日 平成30年11月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	15,298	2.0	873	64.9	954	61.4	881	46.8
30年3月期第2四半期	15,605	10.3	2,491	26.6	2,471	21.0	1,657	3.0

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 487百万円 (75.2%) 30年3月期第2四半期 1,963百万円 (60.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	35.26	
30年3月期第2四半期	66.27	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	42,508	27,992	65.9
30年3月期	39,842	27,905	70.0

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 27,992百万円 30年3月期 27,905百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、平成30年3月期については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値を記載しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		16.00	16.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	31,300	0.9	1,900	48.4	2,000	43.5	1,600	47.1	63.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	25,021,832 株	30年3月期	25,021,832 株
期末自己株式数	31年3月期2Q	12,362 株	30年3月期	12,266 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	25,009,499 株	30年3月期2Q	25,010,002 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想等に関する詳細は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、平成30年11月12日(月)にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。
3. 四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、好調な企業収益を背景に緩やかな回復基調が続きました。世界経済は、引き続き堅調な米国経済をはじめ、欧州やアジア地域でも景気に明るさが見られるものの、米国と中国の貿易戦争による悪影響の懸念が高まっており、先行き不透明な状況が続いております。

半導体業界におきましては、昨年度まで高水準で推移していたメモリー需要が踊り場を迎え、メモリーメーカーの設備投資が停滞しております。また、仮想通貨向けの半導体需要が急減したことにより、大手ファブドリーでは売上予想を下方修正するなど、足元の状況には一時的な減速感が現れています。一方、IoT（モノのインターネット）の基盤となる5G（第5世代インターネット通信）の商用化に向け、5G対応半導体の開発の加速や、大規模な導入実験が行われております。また、電気自動車の普及や自動運転技術の実用化に向け、車載用半導体の搭載数の増加や高機能化により、長期的には半導体需要の拡大が見込まれるものと考えております。

このような状況のもと、当社グループは、半導体製造装置事業の裾野拡大のため、シンガポールのEMS企業であるKINERGY社の子会社から金型製造事業の譲受と、その受け皿となる子会社の設立を決定いたしました。さらに、同事業拡大のため、中国南通市政府と投資契約を締結し、めっき処理を含めた金型の一貫生産が可能な事業用地を取得いたしました。また、新規事業の拡大と既存事業の拡張のため、レーザ複合装置の草分け的存在であるオムロンレーザーフロント株式会社の全株式を取得し連結子会社化を行う等、「TOWA10年ビジョン」の達成に向け積極的な事業展開を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高152億98百万円（前年同期比3億7百万円、2.0%減）、営業利益8億73百万円（前年同期比16億18百万円、64.9%減）、経常利益9億54百万円（前年同期比15億17百万円、61.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益8億81百万円（前年同期比7億75百万円、46.8%減）となりました。

なお、セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### [半導体製造装置事業]

半導体製造装置事業における経営成績は、当社が過去に納入した製品の改造・修理や、パーツ・中古機の販売を行うトータル・ソリューション・サービス（TSS）が堅調に推移したものの、NAND型フラッシュメモリーの価格の下落にともなうメモリーメーカーの生産調整や、米中貿易戦争の影響により一部顧客で設備投資判断に慎重な姿勢が見られたこと等により、市場環境に減速感が生じたことから、売上高141億35百万円（前年同期比7億95百万円、5.3%減）となりました。収益面では、売上高の減少に加え、スマートフォン需要の減速にともない付加価値の高い製品の売上構成比が低下したことや、中国地域での戦略価格による金型の販売を行ったこと、また事業規模の拡大に合わせた人員増等により、営業利益8億11百万円（前年同期比16億1百万円、66.4%減）となりました。

#### [ファインプラスチック成形品事業]

ファインプラスチック成形品事業における経営成績は、売上高7億44百万円（前年同期比69百万円、10.4%増）、営業利益93百万円（前年同期比14百万円、18.3%増）となりました。

#### [レーザ加工装置事業]

レーザ加工装置事業につきましては、平成30年8月にオムロンレーザーフロント株式会社の株式を取得したため、当第2四半期連結会計期間より報告セグメントを追加いたしました。

レーザ加工装置事業における経営成績は、電子部品や車載用センサー市場の好調さを背景に、主力製品であるレーザトリマの売上が堅調に推移し、売上高4億17百万円となりましたが、オムロンレーザーフロント株式会社の株式取得にともなう、のれんの償却費が発生したため、営業損失31百万円となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年10月29日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,182,267	5,506,488
受取手形及び売掛金	8,014,756	10,121,214
電子記録債権	151,182	212,209
商品及び製品	1,631,033	1,350,550
仕掛品	5,412,367	6,764,058
原材料及び貯蔵品	846,325	787,469
その他	820,390	772,095
貸倒引当金	△565	△1,230
流動資産合計	23,057,759	25,512,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	14,282,632	14,165,306
減価償却累計額	△10,032,897	△10,089,346
建物及び構築物 (純額)	4,249,734	4,075,959
機械装置及び運搬具	9,826,729	10,047,486
減価償却累計額	△7,570,389	△7,894,300
機械装置及び運搬具 (純額)	2,256,339	2,153,186
土地	4,371,944	4,378,848
リース資産	13,453	18,012
減価償却累計額	△9,925	△15,309
リース資産 (純額)	3,528	2,703
建設仮勘定	158,344	622,923
その他	3,110,244	3,372,864
減価償却累計額	△2,570,055	△2,828,312
その他 (純額)	540,188	544,551
有形固定資産合計	11,580,080	11,778,173
無形固定資産	654,358	603,815
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	161,818	185,759
その他	4,388,735	4,428,753
貸倒引当金	-	△623
投資その他の資産	4,550,553	4,613,888
固定資産合計	16,784,992	16,995,877
資産合計	39,842,752	42,508,733

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,943,838	2,419,774
電子記録債務	542,976	1,942,061
短期借入金	1,800,000	5,450,000
1年内返済予定の長期借入金	818,750	652,500
未払法人税等	823,968	376,842
製品保証引当金	127,117	130,655
賞与引当金	486,324	680,951
役員賞与引当金	48,818	12,508
その他	2,279,649	1,478,545
流動負債合計	10,871,444	13,143,839
固定負債		
長期借入金	806,875	714,375
退職給付に係る負債	257,898	656,927
その他	1,382	1,430
固定負債合計	1,066,156	1,372,732
負債合計	11,937,600	14,516,571
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,932,627	8,932,627
資本剰余金	462,236	462,236
利益剰余金	16,238,399	16,720,088
自己株式	△11,082	△11,200
株主資本合計	25,622,180	26,103,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,017,480	1,657,159
為替換算調整勘定	153,109	127,382
退職給付に係る調整累計額	112,381	103,867
その他の包括利益累計額合計	2,282,970	1,888,409
純資産合計	27,905,151	27,992,161
負債純資産合計	39,842,752	42,508,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	15,605,731	15,298,244
売上原価	10,087,701	11,474,476
売上総利益	5,518,029	3,823,768
販売費及び一般管理費	3,026,536	2,950,494
営業利益	2,491,493	873,273
営業外収益		
受取利息	10,666	4,551
受取配当金	24,922	29,918
為替差益	-	26,908
雑収入	62,586	55,284
営業外収益合計	98,176	116,664
営業外費用		
支払利息	15,328	12,110
為替差損	98,760	-
支払手数料	2,686	17,380
雑損失	1,405	6,436
営業外費用合計	118,180	35,927
経常利益	2,471,488	954,010
特別利益		
固定資産売却益	655	13,337
関係会社清算益	378	-
特別利益合計	1,033	13,337
特別損失		
固定資産除却損	3,573	7,475
ゴルフ会員権評価損	3,075	-
その他	2,698	132
特別損失合計	9,347	7,608
税金等調整前四半期純利益	2,463,174	959,740
法人税等	791,492	77,897
四半期純利益	1,671,682	881,842
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,235	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,657,446	881,842

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,671,682	881,842
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112,255	△360,321
為替換算調整勘定	192,091	△25,726
退職給付に係る調整額	△12,360	△8,514
その他の包括利益合計	291,985	△394,561
四半期包括利益	1,963,667	487,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,955,632	487,281
非支配株主に係る四半期包括利益	8,035	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当第2四半期連結会計期間において、TOWAレーザーフロント株式会社(旧社名:オムロンレーザーフロント株式会社)の株式を取得したため、連結の範囲に含めております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。